

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行者 山口隆志
責任者 10日
発行日 1部20円
定価 組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

国有林野事業の特殊性・職場実態を 踏まえた要求の実現を求める ～人事院九州事務局交渉～



人事院九州事務局へ要求書を提出

交渉の冒頭、甲斐地本委員長は「今回の交渉内容の多くは、その根底には国有林は単なる行政官庁としてのみならず、現場官庁としての特殊性の反映である。森林整備、国有財産管理、民有林への技術的支援、さらには近年多発している災害復旧など多くの特殊な業務がある。そういった現実実態を踏まえた要求であるので、誠意ある回答を求めたい」と挨拶し、人事院九州事務局金田総務課長に要求書を手交した。

内容は、①級別定数については、現状を踏まえた職務評価の適正化を図るとともに、2、3、6級の定数を維持することとあわせて、昇格基準の緩和を図ること②多数の一般職員が役付けポストの業務に従事している実態にあり、その特殊性に基づき、俸給月額につき適正な調整額表を定めること③森林官(3G)については、業務は多岐にわたる困難及び責任の度合いが増していることから級別標準職務表における4G、複雑、困難及び責任の度が同程度の職務に位置づけること④行IIについては、級構成の簡素化や号級較差額の改善を図ること。また、部下数制限事項のさらなる弾力的運用を図ること⑤特殊勤務手当については、国有林の現場業務における特殊性を踏まえ、支給要件の見直しを行うとともに適用業務の拡充を図ること⑥雇用と年金の接続について、希望どおりの再任用の実現と給与制度の改善を図ること。あわせて、支給対象とされていない諸手当につ

九州地本では、10月19日に人事院九州事務局交渉を実施しました。感染症対策のため交渉態勢を含めた実施全般について検討していましたが、例年どおり実施することに至りました。今回の交渉でも各ブロックより代表者4名が参加、地本三役と前川地本執行委員を含め、総勢8名で交渉を実施。ブロック参加者は、北部ブロック・橋本(長崎分会)、熊本ブロック・小薄(熊本南部分会)、宮崎ブロック・釜(技術センター分会)、鹿児島ブロック・松永(北薩分会)。

機関使用通勤者の限度額を引き上げるなど、生活実態を踏まえた支給額の引き上げを図ること等を求めました。これに対し人事院は、①林野庁や職員団体の意見を聞きながら検討が進められている。強い要望があったことを本院へ伝える②実態があることは承知した。要望を本院へ伝える③現場の職務実態は以前より聞き伺っている。調整額表の要望があったことを本院へ伝えていく④制度上の難しさがあるのは事実だが、

本院へ伝えていく⑤以前より強い要望があることは本院へ伝えている。一會移行時に一定の整理が行われているが、今後も引き続き関係者から現場実態を伺っていききたい。また、依然として強い要望があることは本院へ伝えていく⑥雇用と年金の接続は社会保障等でも重要なものと理解している。人事院としての役割を果たしていきたい。定年の段階的引上げ中は、現行の再任用制度を存置するとともに、フルタイム再任用の拡大の取組を進めていく必要があると考えている。⑦実態を踏まえた強い要望があったことを本院へ伝える⑧等の回答がありました。その後、各ブロック代表者が発言、「再任用へ住居手当の支給」「地域手当の対象地域拡大」「通勤手当の増額」「山上等作業

「要求項目の前向きな改善に向けて」 地本指令3号を发出

地本指令3号を发出

地本は、本部指令第2号の発出を受け、地本指令第3号を发出しました。

内容は、秋季年末闘争であり、2020年度事業計画、2021事業予定、2021春闘など、組合員の労働条件・生活・職場環境などを前向きに改善させるための重要な取組です。地本・分会は2020年秋季年末闘争の組織態勢確立を行い、国有林野事業の推進をはじめ、以下の行動を展開します。

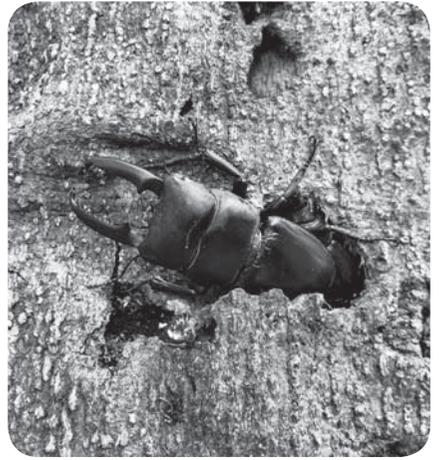
① 森林・林業・木材関連産業の基本政策の推進に向けた取組
○「基本計画」の着実な推進
「森林経営管理法」等に係る附帯決議を踏まえた対策の具体化

② 2021年度事業予定に向け、関係団体等、関係政党、地元選出国會議員への要請行動等に取組を進めること。
③ 国有林野事業の推進に向けた取組
○本部交渉と連動させ、労働過重となつている職場実態の解消に向けた具体的な対策を求めること。
④ 2021年度事業予定に向け、再造林をはじめとする森林整備、森林吸収源対策等に係る予算確保、事業運営経費の確保
⑤ 取組等は、各署等の資源状況を踏まえたものとする
⑥ 主伐・再造林の拡大に伴う事業実行態勢の確保、国有林野事業の特殊性を踏まえた現場管理機能確立に向けた対策を講じること。
⑦ 非常勤予算確保、庁費・旅費等の共通費予算確保と円滑な業務運営確保に向けた対策など、職場課題解消に向けた

匠の腕

『今月のクワガタ』

(撮影者：塩崎暢彦・都城分会)



「匠の一言」
機関紙みなみかぜの人気コーナー？(ゴトウヒラタクワガタ)

2021年度予算確保に向け、関係団体等、関係政党、地元選出国會議員への要請行動等に取組を進めること。
③ 国有林野事業の推進に向けた取組
○本部交渉と連動させ、労働過重となつている職場実態の解消に向けた具体的な対策を求めること。
④ 2021年度事業予定に向け、再造林をはじめとする森林整備、森林吸収源対策等に係る予算確保、事業運営経費の確保
⑤ 取組等は、各署等の資源状況を踏まえたものとする
⑥ 主伐・再造林の拡大に伴う事業実行態勢の確保、国有林野事業の特殊性を踏まえた現場管理機能確立に向けた対策を講じること。
⑦ 非常勤予算確保、庁費・旅費等の共通費予算確保と円滑な業務運営確保に向けた対策など、職場課題解消に向けた

交渉を取り組むこと。
○「樹木採取権制度」については、本部交渉と連動させ、業務負担を増大させないこと等を求めて取組を進めること。
③ 組織強化と民主的な組織運営に向けた取組
○指令の内容、本部情報などを職場集会、機関紙等により伝達し、組合員との情報共有化を図り、組合員との情報共有化を図り、職場実態を汲み上げた交渉を行うなど執行委員会の機能を発揮する中で取組を進めること。
林野労組HPについては、積極的な活用が図られるよう組合員への丁寧な説明を行うこと
○組織化対策については、最重要課題と位置づけ、分会に「対策委員会」等を設置し、無所属者情報の共有化を図り対策を強化すること。
○「ブロック別学習交流会」の成功に向け、参加態勢の確立を図ること。具体は別途指示。

④ 未組織林業労働者の組織化に向けた取組
○森林労連等連携を図り、国有林野の事業を実施している林業事業者等を対象にリストアップなどを行い取組を進めること。
⑤ 2020人事院勧告及び2021春季生活闘争に向けた取組
○人事院勧告に係る地方公務労働等の諸行動に積極的に参加するとともに、労働条件等の諸課題について当局交渉を行い、中央交渉に連動をさせること。

⑥ 反戦・平和、護憲及び各級選挙勝利に向けた取組
○第49回衆議院議員選挙及び各級選挙については、地方連合及び森林労連、林退会等と連携を図り取組を進めること。
○反戦・平和、護憲については、連合・公務労協等が進める地域段階での取組に積極的に参加すること。

とした労働条件が必要。そういう意味では人事院の役割は非常に大きい。今後も人事院としての役割を十分に果たしていくよう要望する。」と発言し、要求内容を確実に本院へ伝えることを確認して交渉を終了しました。

とる▼王より飛車をかわいがる初心者レベルでは、互いに入玉することも多くある。プロ棋士は負けを覚悟した時相手の間違いを期待して指し続けることはせず、一手違いの形にして投了する。「敗者の美学」をもっている▼先に投票が行われた米大統領選は、民主党のバイデン氏が勝利を確実にし、王手となった。だが、トランプ氏は負けを認めそうにもない。諦めない姿勢は大事だが、自国が定めた制度を否定するようでは何のための民主主義なのか。過去に法廷での闘争となった歴史が繰り返されてしまうのか▼将棋の名言に「銀が泣いている」がある。自分の負け将棋で「銀」を生かせず自分を責めた言葉とされている。この言葉には「美学」がある。最後は美しい将棋としてほしい。

将棋には「詰んだ」と思っても、手順をひとつ間違えると詰まない。「王手」が「追う手」となる▼王より飛車をかわいがる初心者レベルでは、互いに入玉することも多くある。プロ棋士は負けを覚悟した時相手の間違いを期待して指し続けることはせず、一手違いの形にして投了する。「敗者の美学」をもっている▼先に投票が行われた米大統領選は、民主党のバイデン氏が勝利を確実にし、王手となった。だが、トランプ氏は負けを認めそうにもない。諦めない姿勢は大事だが、自国が定めた制度を否定するようでは何のための民主主義なのか。過去に法廷での闘争となった歴史が繰り返されてしまうのか▼将棋の名言に「銀が泣いている」がある。自分の負け将棋で「銀」を生かせず自分を責めた言葉とされている。この言葉には「美学」がある。最後は美しい将棋としてほしい。

とる▼王より飛車をかわいがる初心者レベルでは、互いに入玉することも多くある。プロ棋士は負けを覚悟した時相手の間違いを期待して指し続けることはせず、一手違いの形にして投了する。「敗者の美学」をもっている▼先に投票が行われた米大統領選は、民主党のバイデン氏が勝利を確実にし、王手となった。だが、トランプ氏は負けを認めそうにもない。諦めない姿勢は大事だが、自国が定めた制度を否定するようでは何のための民主主義なのか。過去に法廷での闘争となった歴史が繰り返されてしまうのか▼将棋の名言に「銀が泣いている」がある。自分の負け将棋で「銀」を生かせず自分を責めた言葉とされている。この言葉には「美学」がある。最後は美しい将棋としてほしい。



「詰んだ」と思っても、手順をひとつ間違えると詰まない。「王手」が「追う手」となる▼王より飛車をかわいがる初心者レベルでは、互いに入玉することも多くある。プロ棋士は負けを覚悟した時相手の間違いを期待して指し続けることはせず、一手違いの形にして投了する。「敗者の美学」をもっている▼先に投票が行われた米大統領選は、民主党のバイデン氏が勝利を確実にし、王手となった。だが、トランプ氏は負けを認めそうにもない。諦めない姿勢は大事だが、自国が定めた制度を否定するようでは何のための民主主義なのか。過去に法廷での闘争となった歴史が繰り返されてしまうのか▼将棋の名言に「銀が泣いている」がある。自分の負け将棋で「銀」を生かせず自分を責めた言葉とされている。この言葉には「美学」がある。最後は美しい将棋としてほしい。

各分会での精力的な取組

組織拡大に取り組む

～連合熊本第26回地方委員会～



各単組から52名が参加

委員会冒頭に令和2年7月豪雨災害に被災された方のご冥福を祈り会場内全員で黙祷を捧げました。

委員会議長に友田会長より「新型コロナウイルス感染症対策」及び「自然災害対策」に係る課題に対する政策・制度の「要求と提言」について作業部会を設置し、取りまとめて10月26日熊本県へ申入れを予定しています」とあいさつを受けました。

来賓あいさつは、時期衆議院選挙熊本4区予定候補「矢上雅義衆議院議員」(立憲現・連合推薦)、熊本3区予定候補「馬場功世氏」(社民新・連合支持)。

戦争の恐ろしさが薄れている時代だからこそ

「川畑通信委員」鹿兒島分会 9月19日に九州労働金庫鹿兒島支店にて9.18不戦を誓う日の集いが開催され「満州事変を問い直す」というテーマで講演が行われました。この講演は、日本が過去に起こした過ちを忘れることなく、後世に引き継ぐ



9.18不戦を誓う日の集会

ことを目的に開催されました。講演では、九州大学大学院法学研究院 協力研究員の後藤 啓倫(ごとう) ひろみち氏から満州事変の起こった原因や経緯、その後の歴史にもたらした影響などをお話していただきました。

「存じの方は少ないと思いますが(筆者も知りませんでしたが)、9月18日は満州事変の発端となった「柳条湖事件」が発生した日です。奉天近郊の柳条湖付近で日本が所有する南満州鉄道が爆破された事件で、日本が太平洋戦争で敗戦への道を突き進んでいく引き金となりました。

この事件は日本軍の自作自演で、中国軍によって起こされたことと発表することで中国侵略を展開拡大するための口実であり軍部の暴走であったと

いう話でした。自国の利益のために手段を選ばない自己保身的な考えで返してはいけないと強く思いました。

今年8月15日、敗戦(1945年)から75年の節目になります。時代も移り変わり戦争経験者の方々も少なくなりました。

このように戦争の恐ろしさが薄れている時代だからこそ私たちが一人ひとりが平和に対して意識をもち活動していかなければいけないと思います。

研修生を労う 森の収穫研修生との意見交換会

九州地本では10月5日、九州森林労連会館において、2週間に亘って行われる「森の収穫研修」に参加している研修生との意見交換会を実施しました。

会には、採用から3年目となる研修生と聴講生の皆さん、局分会執行部、地本青年女性委員会・田畑事務局長、地本執行部が参加しました。

冒頭、前川地本組織部長のあいさつで始まり、甲斐執行委員長が「2週に亘る研修のご苦労を労いたい。本日は地本執行部だけでなく局分会からも参加し

て戴いているので、日頃思っていることなど気兼ねなく意見交換をして戴きたい。コロナ禍ではあるが、研修生自身もコロナに感染しない、仲間や同僚にも感染をさせないことを思っ

その後、限られた時間ではありましたが、互いに意見交換などを盛況の中、交流が深められました。最後は、研修生代表として大分会の木下さんから気持ちのこもった明るいあいさつがあり、盛会の中、意見交換会を終了しました。

その後、限られた時間ではありましたが、互いに意見交換などを盛況の中、交流が深められました。最後は、研修生代表として大分会の木下さんから気持ちのこもった明るいあいさつがあり、盛会の中、意見交換会を終了しました。

新規加盟への加入促進及び組合員の減少の歯止めについて、執行部より「オルガナイザーを設置して新規加盟及び組合員の増加に取組を進めます」と回答がありました。

執行部より提案された議案については、全会一致で承認・採択されました。

最後に友田会長の団結がんばるうで閉会しました。

九州地本では10月5日、九州森林労連会館において、2週間に亘って行われる「森の収穫研修」に参加している研修生との意見交換会を実施しました。

会には、採用から3年目となる研修生と聴講生の皆さん、局分会執行部、地本青年女性委員会・田畑事務局長、地本執行部が参加しました。

冒頭、前川地本組織部長のあいさつで始まり、甲斐執行委員長が「2週に亘る研修のご苦労を労いたい。本日は地本執行部だけでなく局分会からも参加し



あいさつをする木下さん(大分会)

来年の開催に先駆けて！ 第26回連合菊池阿蘇地協 列島クリーンキャンペーン



参加者全員で

秋晴れの10月24日、阿蘇深葉国有林の「連合の森」において第26回連合菊池阿蘇地域協議会主催による列島クリーンキャンペーンが開催されました。

この取組は、例年、同地協が熊本森林管理署と分収造林契約を結んでいる同森内において、自然環境保全活動の一環で森林整備事業として企画しているもの。

はじめに、溝越熊本森林管理署次長は「植栽されているクヌギ、ケヤキ、カエデ等も順調に生育しており、連合の活動が次世代に繋がるようにご期待申し



林内を確認中です

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、同地協幹事を中心としたメンバー構成で熊本署職員を含む総勢19名での開催となり、規模を縮小したイベントとなりましたが、来年の取組に先駆けて林内の歩道等の修繕を要する箇所点検や、造林木の生長状況を確認しながら林内の散策を楽しみ、参加者同士が程よい汗をかき良い機会となりました。

あの人とあの人

「私もスコップで奏でます月」

東 泰晟さん(佐賀分会)



今回佐賀分会から紹介させていただいたのは、今年度採用された期待の新人「東泰晟(ひがし たいせい)」さんです。東さんは熊本県熊本市出身で、熊本県立大学では黄砂やPM2.5などの大気に関する研究をしていました。大学卒業後に佐賀森林管理署

当面の活動

- 11月4日 地本執行委員会
- 11日 林協会拡大幹事会
- 18日 地本執行委員会
- 26日 地本要請行動(福岡市)
- 12月2日 地本執行委員会
- 11日 森林労連単産交流学習会(熊本市)
- 22日 地本団体交渉

記事を募集しています!!

分会で開催したいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、地本のメールアドレスへ投稿をお願いします。E-mail sinrin14-no7@clock.ocn.ne.jp (担当・教宣担当)